

サッカークラブ2チームが町で防災学習

昨年12月29日(木)、土佐西南大規模公園でサッカー合宿のために町を訪れていた広島県のWILD FLOWERSと高知県のソレアーダ高知の中学生サッカークラブ2チームが、NPO 砂浜美術館主催の防災学習に参加しました。同学習はふるさと総合センターで行われ、2チーム約40人が参加しました。

防災学習では、浜の宮地区津波避難タワーや加茂神社の安政津波の碑などを視察するフィールドワークや、災害対応カードゲーム形式の教材「クロスロード」を使ったワークショップが2チーム混合で行われました。

WILD FLOWERSの中野豪心さんは、「防災について、自分の見解を広めることができた。自分にできることをやっていきたい」と話し、また、ソレアーダ高



安政津浪の碑を視察する皆さん

知の松山宋司さんは、「自分の命を守ろうと思った。みんなにも伝えていきたい」と話しました。

南郷小が第25回坂本教育賞受賞

昨年、(公財)高知県文教協会主催の「第25回坂本教育賞」を南郷小学校が受賞しました。

「第25回坂本教育賞」は、高知県内の小・中学校のなかから優れた教育実践が認められる学校を表彰するもの。同小は、教科担任制の導入による児童の学力保障と、教職員の働く環境の改善を両立し、また、地域と協働した教育活動の取組が評価され、受賞しました。

同小の坂本恭美子校長は、「教科担任制の導入は以前から行っていた。たまたま行っていた取組が認められて、ありがたいことだと思う。今後も、児童・教職員が安全に過ごせる環境作りを続けていきたい」と話しました。



表彰式の様子

元プロサッカー選手2名が子どもたちへサッカースクール

1月9日(月)、土佐西南大規模公園で、黒潮町出身の元プロサッカー選手藤田泰成さんと、元日本代表選手(神奈川県出身)の石川直宏さんを迎え、サッカースクールが開催されました。

同スクールには小学校3年生から6年生の児童計33名が参加し、ボールの感覚を掴むためのウォーミングアップやゲームなどが行われました。

入野小学校4年生の西地撰さんは、「指導もわかりやすく、最後に全員でしたゲームも楽しかった」と話しました。

藤田さんは、「子どもたちは元気で、運動能力も高いと感じた。町の皆さんにもサッカーを好きになってもらって、希望を持ちながら夢を追いかけてほしい」と話しました。

また、石川さんは、「楽しく、良い刺激になった。チャンスは平等。これからもチャレンジを続けてほしい」と話しました。



指導をする石川さん



ゲームの指示を出す藤田さん

高知ユナイテッドSCキャンプ

1月16日(月)～1月27日(金)までの11日間、高知ユナイテッドSCが土佐西南大規模公園でキャンプを行いました。

キャンプには、選手25名、練習生6名の計31名が参加し、1月16日(月)には、松本敏郎町長など関係者らによる歓迎式典が行われました。

式典では、松本町長から、「若くフレッシュなプレーが見られることを楽しみにしている。身体に気を付けながら、シーズンに向けた最終調整をしていただきたい」と激励の言葉が送られ、その後、文旦やイチゴなど記念品が贈られました。



中田選手会長より挨拶

黒潮町出身の井上聖也選手は、「メンバーの新加入により、去年とは違ったスタートになると思う。1日1日を大切に、成長するためにチャレンジしていきたい」と話しました。



練習の様子

1日1日を大切に、成長するためにチャレンジしていきたい」と話しました。